

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

Oita Information & Support Center

2025
Autumn

No.26



令和7年度「災害時外国人支援セミナー」の開催

令和7年8月22日大分県立美術館研修室にて「災害時外国人支援セミナー」(大分県委託事業)を開催しました。今回のセミナーは行政職員を対象とし、県と14市町等の外国人支援、防災業務などに関わる職員40名が参加しました。

冒頭、県国際政策課松木課長より、近年、県内の外国人居住者は過去最多となっており今後も増えていくことが予想される中、災害が発生した際、言葉や文化の違いで災害弱者となりうる外国人への防災対策の理解を深めてもらいたいとの挨拶がありました。

今回のセミナーは、別府市企画戦略部政策企画課 村野淳子さんに「地域とともに多様な団体・組織と進める別府市インクルーシブ防災 "誰ひとり取り残さない防災"」をテーマに講義していただきました。

村野さんは、2003年の宮城県北部連続地震災害の被災者支援活動を契機に、全国各地の被災地で生活支援活動に取り組まれてきました。内閣府や総務省などの防災分野の委員を多数歴任し、2016年1月より別府市にて、障害のある人もない人も安心して暮らせるための個別支援計画のモデル作りとともに、地域共生社会の実現を意識し、地域づくりに取り組んでおられます。



講義では①別府市の避難行動要支援者支援、②被災地の外国人支援を学ぶ、③多文化共生のまちづくりから災害支援の現状を確認する、④日常業務にどのように災害支援をプラスするかについて動画などを用いて話していただきました。

セミナー終了後のアンケートでは、「被災者支援のご経験に沿った形で必要なポイントを的確に示していただきました」、「市の役割として、地域のキーパーソンとつながり、外国人との橋渡しをしていきたい」、「経験を基に動画などを見せて頂き、理解しやすかった」など、参加者の方々から好評でした。

information

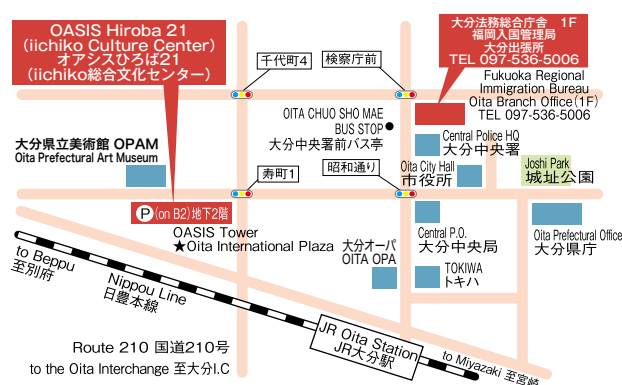
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <https://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです





日本語教室・日本語ボランティア研修(初級編)

おおいた国際交流プラザでは、県より委託を受けて「日本語教室・日本語ボランティア研修」事業を実施しています。

今回の研修は7月19日、27日に「iichiko総合文化センター」(大分市)にて初級者を対象に実施し、大分市を中心に延べ69名の方が受講しました。講師は昨年度に引き続き、立命館アジア太平洋大学の本田明子教授に務めていただきました。

初日冒頭には、主催者を代表し、大分県国際政策課の平井主査が挨拶を行い、「大分県に住む外国人は年々増加傾向にあり、地域の産業等を維持するために外国人の協力はなくてはならない存在になってきている。外国人と円滑にコミュニケーションを行い、よりよい大分にしていくためにも、ボランティアの皆様の力をお借りしたい」等のお話がありました。

研修1日目は、多文化社会日本の現状と日本語ボランティアの役割についての話から始まり、外国語としての日本語を教えるための基礎知識について学びました。2日目は講師から説明のあったシラバスを活用した自己紹介の考案や、3～4名のグループで生活 Can do(国内に在住する外国人が日常生活において日本語で行うことが想定される言語活動を示したもの)を作り、その Can doを使って実際に日本語教室でどのような活動を行うかを考え発表するなど、より実践的に日本語の教え方の基礎を学習しました。

参加者アンケートでは、「日本語教育への知識が深まった」「日本語を教えるということについてのイメージが明確になった」「外国人との交流にもっと積極的にかかわっていこうと改めて思うようになった」などの感想が聞かれました。

今回の研修で学んだことがさまざまな地域で大いに活かされることを期待しています。



相談事例



知り合いの外国人が病院受診を予定しています。
簡単な日常会話はできますが、難しい日本語は理解できません。
知り合いの外国人が利用できる通訳ツールがありましたら、教えてください。



病院・診療所向けご案内
おんせん県おおいた 多言語コールセンター
多言語コールセンターは大分県が提供するサービスです。

対応時間・言語： 24時間／年中無休22言語
英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウルドゥー語

ご利用対象： 事前登録された大分県内の施設様
医療機関・福祉施設・介護施設・教育機関・行政機関・その他（※利用料は別途）

※ご利用上の注意： 本サービスは、事前登録された施設様専用です。登録していない施設様からの利用はできません。

多言語コールセンター：092-687-6757

**外国人の方と
目の前にいるとき**
2地点三者通訳
外国人の方と目の前にいるとき、通訳料無料！
（※通訳料は別途）

**外国人の方と
連絡を取りたいとき**
3地点三者通訳
外国人の方と連絡を取りたいとき、通訳料無料！
（※通訳料は別途）

ご利用登録： 本サービスは、事前登録された施設様専用です。登録していない施設様からの利用はできません。登録方法については、下記URLからお問い合わせください。
おんせん県おおいた 多言語コールセンター 090-2900-6210（受付時間：9時～17時）

大分県医療政策課福祉部 097-506-2646

大分県では、医療機関等における外国語のコミュニケーションを支援するため、電話による無料通訳サービス「おんせん県おおいた多言語コールセンター」を設置しています。

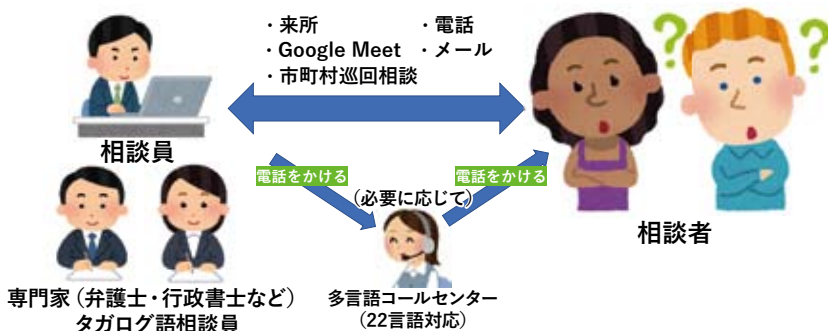
※対応言語：22言語

（英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語、ベンガル語、ウルドゥー語）

※事前に受診予定の病院に「おんせん県おおいた多言語コールセンター」が使用可能かご確認ください。

※医療従事者同士の通訳や難解な専門用語を含む通訳は対応できない場合があります。

相談センター利用イメージ



大分県外国人総合相談センターでは、在留資格や生活の困りごとなど、在留外国人や関係者からの相談に多言語で対応しています。

利用方法については、HP、SNS等で確認して下さい。

HP



Facebook



X



大分県国際交流員着任あいさつ

Hey everyone, nice to meet you! (皆さん、初めまして!)

アメリカのニューヨーク州から参りましたリン・アリシアナと申します。この度、国際交流員として大分県庁で働くことになりました。

異なる文化や背景を持つ友達に囲まれて育った私は、相手との違いを受け入れ、理解することの重要性を学びました。そんな経験から、異文化に対する関心が自然と高まり、高校生の頃から日本語の勉強を始めました。学べば学ぶほど、日本の文化や日常生活などにどんどん興味を持つようになりました。大学時代には、二回の短期留学を経験し、福井県と京都府の伝統や暮らしを肌で感じ、「もっと深く日本と関わりたい」と思いが強まりました。

大分の温泉、豊かな自然、そして地元の食文化を楽しみながら、アメリカの文化や価値感を共有し、お互いに理解を広げていけたら嬉しいです。まだ分からないことだらけでドキドキしていますが、これから大分の生活や仕事を通して、地域の皆さんと交流を深めたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



Aliceana Lin
(リン・アリシアナ)

国際交流員コラム

「世界から見た日本」

大分県には多くの外国人の方々が住んでいます。バスに乗ると、英語や中国語、韓国語、マレー語など、様々な言語が頻繁に聞こえてきます。

私は留学のために、2022年に初めて日本の大分県に来ました。来日する前は、アニメで見た日本、特に東京や大阪といった大都市のイメージしか持っていませんでした。しかし、大分県（別府市）に住むことで、日本をより深く知ることができ、外国人の視点から新たな魅力を発見することができました。

日本で暮らしながら、母国と異なる点や似ている点について、時々考えます。私が日本に対して最初に抱いたイメージは「おもてなし」です。日本のどこに行っても丁寧な対応を受けることができ、とても良い印象を持った記憶があります。コンビニでも、レストランでも、公共交通機関を利用する際でも、「こんにちは」と優しく迎えられると、温かい気持ちになり、心がほっこりすることがよくあります。

外国人として日本の生活に慣れることができたのは、日本の方々の温かい気遣いのおかげです。言語や文化がまだよく分からなかった私に、優しく説明してくれたり、手を差し伸べてくれたりしたおかげで、一人一人から日本の優しさを実感することができました。優しさや配慮は、日本独特の文化の一面でもあると感じます。実際、世界各国の友人たちとも、「本音と建前」という考え方は、私たち外国人にとって非常に新鮮な文化だとよく話題になります。例えば、日本では、町でゴミを捨てない、クラクションを鳴らさないといった行動のように相手のことを気遣い、迷惑をかけないように配慮する場面が多く見られます。

世界から見た日本は、アニメだけではなく、日本の治安の良さ、清潔さ、おもてなしの心などは、外国人が驚く点であり、日本の大きな魅力だと思います。目に見えるものがすべてではない、ということを改めて実感します。違いを理解し、学ぶ力を育てながら、共に生きていける社会が実現することを願っています。

アン・スヨン

県の取り組み紹介

「外国人材雇用企業相談窓口」をおおいたジョブステーション内に開設しました

大分県では、令和7年度から企業向けの外国人材雇用に関する総合的な相談窓口をおおいたジョブステーション（おおいた産業人財センター）内に新設しました。県内企業に向けて、外国人材の採用・労務管理・定着までの課題をトータルでサポートします。専門スタッフが企業の皆様に寄り添い伴走支援しますので、お気軽にご相談ください。月2回、行政書士の先生による相談会も開催しています。詳細は、ウェブで「おおいたジョブステーション」で検索して下さい。（利用料無料）

〒870-0831

大分市要町 1-14 (アミュプラザおおいた 1 階・6 階)

開館時間：月～土曜日 9:30～18:00

（祝日・年末年始の休暇を除く）

TEL：097-533-8667

E-mail：info@enisie-oita.net

**外国人材の雇用に関する企業向けの総合相談窓口
おおいたジョブステーション**
(おおいた産業人財センター)

利用料 無料

大分県内の企業様に向けて、外国人材の採用・労務管理・定着までの課題をトータルサポート！専門スタッフが伴走支援します。
※相談窓口の利用や支援は無料ですが、民間人材紹介会社を通じて人材を採用する場合は別途手数料が発生します。

3ステップで外国人材の雇用課題解決へ

ステップ1 問い合わせる 外国人材の採用や定着の課題に、専門スタッフが相談対応し、課題解決をご提案。無料で利用できますので、まずはお気軽にお問い合わせください。	ステップ2 相談する 対面、電話、メール、オンラインにて無料で対応いたします。専門スタッフが外国人材受入れの制度や労務・定着に関する内容や流れについてご説明します。	ステップ3 支援を受ける ヒアリング結果をもとに個別相談、研修支援、セミナー、イベント等のさまざまな支援で実践的にサポートします。
--	--	---

お問い合わせ
おおいたジョブステーション
 (おおいた産業人財センター)
 〒870-0831 大分市要町1-14 (アミュプラザおおいた1階および6階)
 開館時間：月～土曜日 午前9時30分～午後6時 (祝日・年末年始の休暇を除く)
097-533-8667
 info@enisie-oita.net
<https://enisie-oita.net/transition/foreign/>

大分県 おおいた産業人財センター運営業務
(本事業は、大分県より株式会社パソナが受託し、運営をしています。)

大分県立夜間中学 生徒募集

～あなたの「学びたい」を、私たちが応援します～



学齢期を過ぎた15歳以上の方で、中学校を卒業していない方、さまざまな事情で義務教育を十分に受けることができなかった方を対象に、令和8年4月に大分県立夜間中学を開校します。年齢や国籍は問いません。授業料や教科書代は無料です。安心して学べるよう、国語・数学・外国語の授業では、生徒の学習状況に応じ、コース（日本語指導を含む）に分かれて学習することができます。ご相談やお問い合わせは、下記の電話番号にて随時受け付けております。また、今後は体験教室やオンライン体験講座の開催も予定しています。夜間中学について詳しく知りたい方は、下記の二次元コードからアクセスしてください。



大分県立爽風館高校内に開校



@OITA_YAKAN

夜間中学 Instagram



夜間中学 HP

大分県教育庁 義務教育課
夜間中学開校準備班
【電話番号】

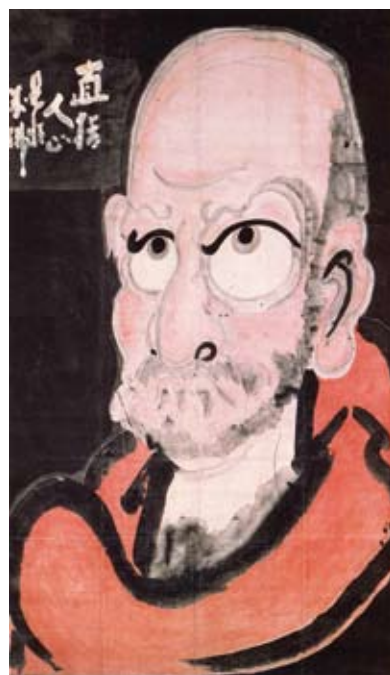
097-506-5578



大分県立美術館 (OPAM) のおすすめ展覧会を紹介します！

OPAM開館10周年記念 きらめく日本美術 1300年の至宝展

八幡信仰、禅宗、南蛮、豊後南画等の大分の美術が、中央の美術と関連しながらも異なる特徴を持ち、豊かに広がる様相をご紹介します。
大友宗麟旧蔵の現存茶道具が初めて一堂に会す展示です。
国宝・重文を含む貴重な美術工芸品約 150 点を公開します。



白隠慧鶴《達磨像》江戸時代 万寿寺

開催期間 2026年
11月22日(土)～1月14日(水)

休 展 日 12月22日(月) ※展示替えのため

会 場 大分県立美術館 3階 展示室B・コレクション展示室

料 金 一般1,400円(1,200円)
大学・高校生1,200円(1,000円)

※() 内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金



伝 狩野永徳《帝鑑図屏風》桃山時代 個人蔵

※関連イベント等展覧会の詳細は、決定次第 WEB サイト等でお知らせします。

国際理解講座

ポルトガル編 (予告)



おおいた国際交流プラザでは、「国際理解講座 ポルトガル編」を開催します！

※詳細は決まり次第、プラザHP等でお知らせします。

県内イベント案内

※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

Festivals and Events



ユーフォニアム&チューバ 四重奏コンサート

日時/10月11日(土)
[午前]11:00 ※2歳以上入場可
[午後]14:00 ※5歳以上入場可
会場/iichiko音の泉ホール
料金/一般 1,000円、
25歳以下 500円、
小学生以下 無料(全席指定)
出演/Ueno Bass Clef
曲目/にじ(中川ひろたか)
宝島(和泉宏隆)ほか

iichiko presents 小林道夫×波多野睦美「冬の旅」

日時/10月24日(金) 19:00
会場/iichiko音の泉ホール
料金/A席 4,000円、
U25割 半額(全席指定)
出演者/小林道夫(ピアノ)、
波多野睦美(メゾソプラノ)

すぎやまこういち 交響組曲「ドラゴンクエストIII」そして伝説へ…オケストラコンサート

日時/11月16日(日) 16:00
会場/iichikoグランシアタ
料金/S席 5,000円、A席 4,000円、
B席 3,000円、
U25割(A・B席)半額(全席指定)
指揮/渡邊一正
管弦楽/九州交響楽団

OPAM開館10周年記念 きらめく日本美術 1300年の至宝展

開催期間/11月22日(土)~2026年1月14日(水)
※休展日 12月22日(月)
会場/大分県立美術館 3階 展示室B・コレクション展示室
観覧料/一般1,400円(1,200円)、
大学・高校生1,200円(1,000円)
※中学生以下は無料
※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳提示者本人1名入場無料
(付き添いの方1名まで無料)

コレクション展 I 【特集展示】竹工芸—伝統の美

開催期間/8月1日(金)~11月12日(水) ※休展日 9月29日(月)
会場/大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料/一般 300(250)円、大学・高校生 200(150)円
※中学生以下は無料
※()内は前売および有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳提示者本人1名入場無料
(付き添いの方1名まで無料)
※企画展の開催中のみ半券提示で1枚につき1回無料



岐部笙芳《花籃 夕風》1991年

びび 大分県芸術文化友の会
メンバー募集!



iichiko
総合文化センター
iichiko Culture Center



OpAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum



JICAデスク 大分からこんにちは! //

2025年8月21日(木)に、スモールワールド放課後児童クラブにて、アフリカ発祥の鬼ごっこ「クバーラ」を、国際協力出前講座で実施しました。

「クバーラ」はアフリカのマダガスカルで古くから伝わり親しまれてきた伝統的な遊びです。JICA海外協力隊でマダガスカルに赴任した隊員が「クバーラ」の遊びを日本に持ち帰り、国際理解を目的とした授業で活用されています。この鬼ごっこは特別な道具は必要なく、ルールもシンプルですが、作戦を立てて仲間と助け合いながらゴールを目指し、みんなと協調して身体を使って遊ぶ体験が盛り込まれています。

「クバーラ」を始める前に、国際協力推進員がアフリカクイズを出しました。これは、「クバーラ」のふるさとであるアフリカと、日本の生活とのつながりについて知ってもらうために行ったものです。子供たちは、「クバーラ」発祥の地であるマダガスカルからバニラアイスのバニラビーンズが輸入されていることを知り、意外なつながりに驚いていました。



アフリカクイズをやってみよう!

アフリカクイズの後は、お待ちかねの鬼ごっこ「クバーラ」の体験です。実際に身体を使ってルールを確認しながらやってみると、得点するのが難しいことに気づきます。「どうやった

ら点が取れるのかな?」と、考え始めたところで「作戦会議をしたい!」と、自然に声が上がりました。作戦タイムが設けられ、チームごとに作戦を練りながら、選手の役割分担や交代のタイミングなど、自分たちで考えて試合を進め、出前講座終了時間間際まで盛り上がりました。この日は、日本以外の国の事を学習し、身体を使って異文化を体験する1日となりました。

JICAデスク大分では、国際理解を目的とした国際協力出前講座を行っております。お気軽にお尋ねください。



攻めるチーム(黄色)と守るチーム(緑)に分かれて競技します



守るチーム(黄色)の守備の隙を縫って得点を狙う攻めのチーム(緑)



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター (B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 渡邊
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活などについて母国語で紹介し、参加者が楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、アメリカ、韓国、中国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

※詳しくはHPをご確認ください

定員 各10名



●語学講座

言語を学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名



●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語・タイ語・アラビア語・ヒンディー語・ウルドゥー語・ミャンマー語・マレー語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

語学力を活かして、在留外国人等のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしてご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 090-7169-4466 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶ひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 月3回水 14:00～15:30

※詳細はお問い合わせください

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 大分中央公民館（大分市） ※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

①場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

②場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週水 13:00～15:00（初級）

毎週水 15:00～17:00（中級）

連絡先 0977-21-1131 別府市文化国際課

▶Beppu Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週日 10:00～12:00

初級から中級まで

連絡先 070-6595-4466 神（こう）

県内には、このほかにも日本語教室が開設されています。詳しくはQRコードからご確認ください。

